

平成29年度地域自立支援協議会交流会 グループ討議後＜強み＞＜取り入れたいこと＞

自治体名	自分たちの協議会の＜強み＞を一言で表すと（キャッチコピー）	今後協議会活動に＜取り入れたいこと＞は
中央区	協議会の活用で、地域と行政をつなげよう！	当事者の主体的な参加とさらなる関係部署との連携。
新宿区	問題意識の高い委員と区直営協議会の力	課題意識を協議会委員で共有し、実りのある協議をする。
文京区	障害当事者による会議参加・意見発信	台東区の65歳の対比表等の具体的取り組み
台東区	近くて顔が見える下町、これが台東	地域の意見を吸収、当事者の声を反映していく
江東区	下町の粋を生かしたバランスのある協議会	カタチに残る物を作っていく
目黒区	活発な部会活動がうみだしたネットワーク	わかりやすい地域課題の共有と当事者の方を協議会に！！
大田区	各部会にバラエティのある人が参加していて、言いたいことが言える	あり方について検討会、プロジェクトベースの部会を越えたPTの開催
世田谷区	たのし区 民まで （たのしく、たのしく、みんなで）	地域課題の解決
中野区	ケースに基づいた議論と区民への働きかけ	もっと当事者の意見を聞く事、と課題の解決までやること
立川市	既存のネットワークを大切に！	当事者の参加
武蔵野市	当事者の声をよくきく	武蔵野市で生まれた成果（モノ、サービス）を広域の社会資源として役立てていく
三鷹市	刷新する協議会	ネットワークの構築
青梅市	各部会の成果を共有できる協議会	障がい者福祉の課題により柔軟に対応できる協議会活動
府中市	連携しやすい	他自治体との関わり
昭島市	深掘りと横串	専門部会の統廃合と、市の事業の予算化
調布市	地域の課題やニーズにアンテナを張れる	誰のための支援なのかを念頭に置き、市民全体にも障害理解を推進すること

小平市	横のつながり、関係機関の協力体制・連携力	協力体制・連携力を深く掘り込み、形あるものに 実現力、判断力に
東村山市	伸びしろが多い	当事者参加・広域連携
福生市	可能性があふれる協議会	地域の実態と課題が反映される体制作り
東大和市	相談部会としては、顔の見える関係性が出来ている。毎年分かりやすいテーマを考えて活動	・GHの課題を考える場を作っていきたい、又権利擁護の視点で、当事者の参画をすすめたい
多摩市	キティーちゃんと共に障害者理解を	地域の障害者理解の和を
羽村市	民間と行政で力を合わせる	連携の強化
あきる野市	多くの団体・事業所が参画しているため、ニーズを把握しやすい	問題解決のために頭と体を使う
大島町	小さいコミュニティーだから連携がとれる	絶対今年度中に立ち上げます